

ドイツ南西部で火災 - 西日本防災システム

2012 11 27

ドイツ南西部にある障害者が働く作業施設で26日午後2時頃火災が発生し、地元警察によると14人が死亡、8人が重傷を負ったようです。倉庫が爆発した後、火の手が上がり、煙が充満する中、逃げ遅れたそうです。

施設はカトリック団体が運営していて精神障害者や身体障害者ら約120人が木材を加工する作業などに従事していました。化学薬品を扱っており、警察が爆発との関連を調べています。

死者には介護士も含まれているそうです。火災があったのはドイツ南西部の町、ティティゼーノイシュタットで、キリスト教団体が運営する障害者の作業所です。地元の警察などによりますと、この火災で、障害者や施設の職員など合わせて14人が煙を吸うなどして死亡したほか、8人が大けがをしたということです。

お亡くなりになった方の御冥福を心よりお祈り申し上げます。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

